

# ランクアップ

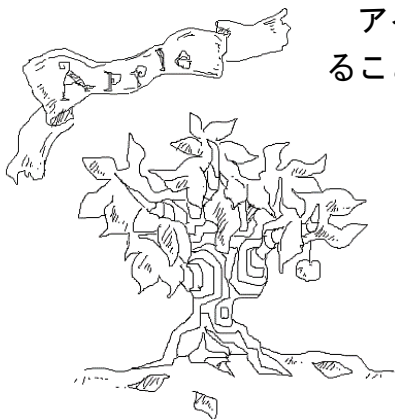
令和2年4月30日(木)

原宿外苑中学校3学年

第79号

4月25日～5月6日まで「いのちを守る STAY HOME 週間」ということで、より一層の外出自粛、家で過ごそうという呼び掛けが東京都から出されました。既に3月からの休校で、皆さんの一足早い「STAY HOME」はそろそろ二か月に及ぼうかというところです。

今回はそんな休校期間中に、誰もが知る偉業を成し遂げた人物について紹介をしたいと思います。

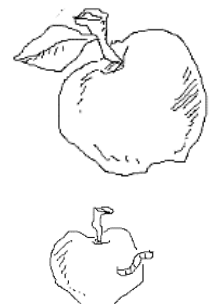


アイザック・ニュートンという名前を、もちろん皆さんは知っていることでしょう。何をした人物かまでは出てこなくとも、「リンゴ」というキーワードを思い浮かべる人は少なくないのではないのでしょうか。

ニュートンは17～18世紀イギリスの科学者です。現代の科学にはニュートンの発見が基礎となったものが多くあり、その分野は自然科学や数学、天文学など多岐に渡ります。中でも「万有引力」を発見したことで知られ、リンゴが木から落ちるのを見て、なぜ横や上ではなく下に落ちるのかと疑問に感じた

ことが発見のきっかけになったというエピソードは、あまりにも有名です。

そんな広く知られている「万有引力」の発見や、後に微分積分と呼ばれるようになる「流率法」などの着想を得たのは、なんと休校期間中のことでした。1665年、ペストという疫病が流行したことにより、大学が一時休校になりました。ニュートンは実家へ帰り、そこで2年間を過ごしたと言われています。このときに自分の考えと向き合う時間を得られたことが、多くの歴史的な発見に繋がりました。



ニュートンはこの期間を「創造的休暇」と呼んだそうです。

緊急事態宣言の中、皆さんが家での日々を工夫して過ごしていることは、担任の先生方からも聞いています。不安な毎日、我慢の日々と感じている人もいるかもしれません。

特に3年生である皆さんは、授業が行われていないこの期間に感じることは多くあるでしょう。そんな中で気持ちを前向きに持っていくことはとても難しいです。

それでも皆さんには、この期間を我慢や退屈の中で過ごすのではなく、興味のあることを様々な角度から深めたり、新しいことに挑戦してみるなど、自分という人間に厚みを持たせる時間として使ってもらいたいと思います。



ニュートンのように「創造的休暇」であったと、この日々を振り返ることができるように、今自分にできることを是非考えてみてください。

5月11日(月)の予定は、決まり次第ホームページ、もしくはコラボノートにてお知らせいたします。よろしくお願いたします。